

## 2023年度 和泉短期大学 シラバス

|                  |  |  |   |       |    |
|------------------|--|--|---|-------|----|
| 授業科目名            | 認知症の理解   |  | 教員氏名                                    | 佐藤 美紀 |    |
| 科目ナンバー           | Ⅲ-6-2-4  |  |   |       |    |
| 学年               | 専攻科  |  | 開講学期                                    | 前期    |    |
| 授業形態             | 講義   |  | 単位数                                     | 2単位   |    |
| 必修・選択            | 専攻科  |  | 実務経験                                    | 介護福祉士 | 6年 |
| テーマ              | 認知症の医学的知識、認知症の種類や支援の仕方を学び、認知症ケアの概念を理解する  |  |   |       |    |
| ディプロマポリシー        | 1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。                               |  |   |       | ○  |
|                  | 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。  |  |   |       | ○  |
|                  | 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。   |  |   |       | ○  |
| カリキュラムポリシー       | 科目群Ⅰ<br>教養   | キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する                     |   |       |    |
|                  | 科目群Ⅱ<br>原理   | 様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う                 |   |       |    |
|                  | 科目群Ⅲ<br>知識・技能  | 子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける |   |       | ○  |
|                  | 科目群Ⅳ<br>実践   | 学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う              |   |       |    |
| 授業の概要            | 介護福祉士として高齢者福祉施設に勤務した経験をもとに事例を用いながら 認知症の人について学んでいきます。医療的知識、認知症の原因・種類、コミュニケーションの仕方など認知症ケアの基礎を学びます。 |  |   |       |    |
| 授業の到達目標          | ①認知症の数や症状や原因、種類を説明できる  |  |   |       |    |
|                  | ②認知症の人の気持ちを述べることができる   |  |   |       |    |
|                  | ③認知症の人とのコミュニケーションの方法を使用できる   |  |   |       |    |
|                  | ④環境による認知症ケアの取り組みを説明できる   |  |   |       |    |
| テキスト             | 『認知症の理解』 介護福祉士養成講座編集委員会 中央法規   |  |   |       |    |
| 参考書              | プリントの配布  |  |   |       |    |
| ポートフォリオ          | ワーク4「歌唱や流行歌を探そう」   |  |   |       |    |
| 往還型授業<br>(双方向授業) | 授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする   |  |   |       | ○  |
|                  | リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する  |  |   |       | ○  |
|                  | リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める  |  |   |       |    |
|                  | ICT(グーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する  |  |   |       | ○  |
|                  | その他: コマシラバスの活用   |  |   |       | ○  |
| 成績評価方法           | 区分   | 割合(%)  | 内容                                      |       |    |
|                  | 定期試験   | 0  | 実施しない                                   |       |    |
|                  | 授業内課題<br>参加度<br>出席態度等  | 100  | まとめテスト60%、小テスト20% 授業内レポート10% 授業態度と意欲10% |       |    |
|                  | その他  |  |   |       |    |

授業概要と課題

|     |           |  |      |
|-----|-----------|--|------|
| 第1回 | テーマ<br>内容 | 認知症の定義・知能と認知機能・数でみる認知症の理解                                |      |
|     | 授業外学習     | 〈課題〉認知症歌集の作成(ポートフォリオ「ワーク4」)                              | 210分 |
| 第2回 | テーマ<br>内容 | 脳の仕組みと働き   |      |
|     | 授業外学習     | 〈課題〉認知症歌集の作成(2曲を作成、Googleclassで提出)                       | 210分 |
| 第3回 | テーマ<br>内容 | 認知症の種類と発症原因と症状   |      |
|     | 授業外学習     | 〈予習〉教科書にて認知症にはどのような種類があるかを勉強する 〈課題〉各種類における発症原因(小テスト)を覚える | 210分 |
| 第4回 | テーマ<br>内容 | 認知症の種類と発症原因と症状(レビー小体・前頭側頭型認知症)                           |      |
|     | 授業外学習     | 〈課題〉各種類における発症原因(小テスト)を覚える                                | 210分 |
| 第5回 | テーマ<br>内容 | アルツハイマー型認知症と血管性認知症の違い・認知症に類似した症状                         |      |
|     | 授業外学習     | 〈予習〉せん妄・仮性認知症の症状を教科書から調べる                                | 210分 |
| 第6回 | テーマ<br>内容 | 認知症の診断   |      |
|     | 授業外学習     | 〈予習〉認知症の診断にはどのような種類があるかを教科書から調べる                         | 210分 |
| 第7回 | テーマ<br>内容 | 傾聴と共感と受容・認知症の方への質問の仕方(閉じられた、開かれた質問)                      |      |
|     | 授業外学習     | 〈課題〉傾聴の技術を使って家族と会話をする(ワーク記入)                             | 210分 |
| 第8回 | テーマ<br>内容 | 中核症状とBPSDの種類と症状  |      |
|     | 授業外学習     | 〈課題〉中核症状とBPSDの種類を覚える(小テスト)                               | 210分 |
| 第9回 | テーマ<br>内容 | 認知症の方とのかわりのポイント・(ロールプレイ)                                 |      |
|     | 授業外学習     | 〈復習〉認知症の方とのコミュニケーションのポイントを覚える                            | 210分 |

|      |           |   |      |
|------|-----------|---|------|
| 第10回 | テーマ<br>内容 | 対処療法と原因療法・認知症ケアの実際を振り返る（グループディスカッション）（ロールプレイ） |      |
|      | 授業外学習     | 〈予習〉実習で体験した職員の対応を思い出す                         | 210分 |
| 第11回 | テーマ<br>内容 | 認知症の人の気持ちから学ぶ認知症ケア                            |      |
|      | 授業外学習     | 〈予習〉「認知症の人の体験」の教科書を読む                         | 210分 |
| 第12回 | テーマ<br>内容 | 認知症の方と環境について（グループホームのケアとトランスファーショック）          |      |
|      | 授業外学習     | 〈課題〉これまでの学びをA3用紙にまとめる                         | 210分 |
| 第13回 | テーマ<br>内容 | 総括：これまでの学びのまとめ                                |      |
|      | 授業外学習     | 〈課題〉これまでの学びをA3用紙にまとめる                         | 210分 |

#### 課題に対するフィードバックの方法

採点した小テスト、10分ワークは当該学生に開示し、不明点に対する説明を授業内で行う。両テストともに7割に満たない学生は再テストや教員と勉強を行う。